

要求されて、ぜひ実現できるように努力をしてほしいと、こんなふうに思いますが、その考えは産業課として持っておられるのかということについて、1点質問いたします。

4点目の婚活支援事業については、了解をいたしました。

以上、終わります。

○議長（森 福子君） 産業振興部長 渡辺彰君。

○産業振興部長（渡辺 彰君） 太陽光パネルの設置に関しまして再質問いただきました。

来年度予算において、予算要求していくのかという御質問でございましたが、所要の調査費につきましては、現在、予算要求を行っているところでございます。

○議長（森 福子君） これより昼食のため休憩いたします。午後1時から会議を開きます。

休憩 午前11時55分

再開 午後1時00分

○議長（森 福子君） ただいまから、休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、3番 辻文男君。

○3番（辻 文男君） こんにちは。

私は、発言通告に従いまして、一般質問2点を行います。

1点目は、降雪・積雪時の除雪対応についてです。

昨年4月には牧谷小学校の誕生、ことし4月には、新生美濃中学校の発足に伴い、学童・生徒の通学にスクールバスが運行され、スクールバス運行がより充実され、当該地域の父兄にとっては大きなサポートになっており、大変ありがたい施策になっています。

また、本年11月から牧谷、洲原地区と美濃地区の一部ではわっちも乗るCarにかわって乗り合わせタクシーの試験運行が始まり、1カ月を経過しましたが大変好評で、利用客も日々増加している現状を聞き、大変うれしく思っています。あわせて県道美濃・洞戸線の道路改良も進み、鬱蒼とした立木も伐採され、崩落対策も施行中で、明るく日当たりのよい非常に走行しやすい道路となり、通勤・通学の道路環境はよくなっています。大変ありがたいことです。

しかし、例年数回ではありますが、降雪・積雪時には大変な渋滞になって、私の住んでいる上牧地区から美濃橋まで1時間近くを要することもしばしば起こります。昨年までも、こうした積雪時には県道をまず第一に除雪し、引き続いて地区内の主要市道を除雪することで対応していましたが、積雪量にもよりますが、早朝未明から夕方近くまで除雪に時間を費やす事例も多くありました。これから迎えることしの冬も、今までと同様、降雪・積雪時には通勤・通学の足が阻害されることはどなたも予測されることで、早々にスタッドレスタイヤを装着し、降雪・積雪時の対応を準備された方も多いと思います。

ところが、ことしの冬の除雪については、昨年とは少し状況が変わってきています。小学校に加え、中学校もスクールバス通学となり、小学校も中学校も朝一番の乗車時間は午前7時ごろになり、ほぼ同時の運行開始時刻となるために、一度に複数路線の除雪対応が必要に

なったことです。加えて、スクールバスは、場所によっては回転しなければならない路線もあり、昨年も市道に隣接する回転場所の除雪を父兄が雪すきをして対応したという話も聞いており、除雪に対する要望は結構多く、さまざまな状況が考えられると思います。

また、午前8時になると、前日からの予約によるお迎えの乗り合わせタクシーの運行も始まります。乗り合わせタクシーでは、各地域集落内の市道にバス停が設けられており、初期の除雪範囲が非常にふえていることとなります。スクールバスも乗り合わせタクシーも、それぞれ到着時間に間に合わせる必要がありますので、それぞれの運行開始の時間には、できれば道路状況の整備が終わっているということが当然の要望となります。降雪・積雪の程度によっては、休校や運休もやむなしの場合も想定できますが、できる限りは運行できるような除雪の体制が求められるところだと思います。

一方、ことしの冬は、今まで除雪や凍結防止剤の散布を請け負っていただいていた美濃市建設協力会では、今までのように、協力会として事業の趣旨に賛同し、会員を取りまとめて市内全域の除雪を引き受け、各路線担当を割り振りながら除雪対応することを取りやめ、各路線それぞれに対して業者がそれぞれの意思を持って個別対応するという話をお聞きしております。市民としては、除雪・凍結防止剤の散布事業の体制を云々とは言えませんが、地域の住民からは、昨年まで以上に除雪対策を充実してほしいという要望が高まっているのが現実です。何とか早い時間帯に必要な路線の除雪を進めていただきたいという強い意思を持ってみます。

そこで、建設部長にお伺いいたします。スクールバスの運行、乗り合わせタクシーの試験運行に伴い、除雪需要が拡大したことに対して、ことしの冬の除雪についてどのように対応されるのかをお聞かせください。

続いて、2点目の質問は、地域づくり支援事業についてです。

現在、実施されている地域づくり支援事業については、各中学校校区を3地域に分け、それぞれの地域で委員会を設置し、それぞれの委員会には地区ごとに部会が設けられ、部会ごとに事業運営が行われています。私たちの会派広報紙「美濃みらいクラブ通信」でも紹介させていただきましたように、各委員会ではさまざまな地域づくり活動に積極的に取り組んでいることは御承知のとおりです。この制度が発足した平成20年度当初は、3カ年の期限つき制度として事業が開始されました。3年間の事業計画を各委員会が策定し、事業の認定を行い、年度ごとに事業が進められ、中有知地域ふれあいセンター建設事業や、下牧地区環境美化運動としてごみステーション整備、大矢田地区では憩いの広場整備事業などが実施されました。

地域からの要望もあり、3年経過後も引き続き地域づくり支援事業は継続されましたが、昨年度、本年度とも単年度ごとの事業計画ということで、取り組む事業内容も、より身近な事業となってきたはいるものの、次年度の予算の予測がつかないということもあり、当該年度に完結するような事業へとシフトしてきました。

この地域づくり支援事業は継続していただきたい事業の一つであるわけですが、予算総額

を市税の1%以内という措置もあり、市税の減少傾向が予見される現在では、予算額も当初の350万円から300万円と減少しており、今後は単年度の予算額がさらに少なくなってくる可能性も視野に入れなければなりません。将来の地域づくりを模索する委員会の構成メンバーでもある各自治会長さんからも、単年度交代のところが多く、加えて予算も単年度決算では使い勝手が悪く、しっかり煮詰めるにも話し合うにも、発想の自由度が狭められる要因にもなるとお聞きをしています。地域全体を見据えた事業という形で考えるとすればなおさらで、二、三年先まで事業継続ができる仕組みを要望されています。

このように、予算の規模が縮小される傾向や実際の活動にかかわりを持たれる自治会長さんたちの要望を考慮しても、複数年の事業としての認可が必要になっていることが考えられます。

そこで、地域づくり支援事業の事業認可について、現在の単年度完結型から複数年継続型に移行することはできないのかについて、総務部長にお伺いいたします。

以上2点について、御答弁のほど、よろしくお伺いいたします。

○議長（森 福子君） 建設部長 丸茂勝君。

○建設部長（丸茂 勝君） それでは、辻議員の一般質問1点目、降雪・積雪時の除雪対応についての1つ目、スクールバス運行、乗り合わせタクシーの試験運行に伴い、除雪需要が拡大したことに対して、今冬の除雪についてどのように対応されるかについてお答えします。

道路は、あらゆる社会活動を支える根本的な社会資本であり、市民が生活を営むための大切な空間であります。子供から高齢者までの全ての人が安全で安心して移動できる空間を確保するために、日々適正かつ迅速に道路管理を行う必要があります。

さて、美濃市が管理する道路は、平成24年3月末現在で927路線、延長約258.8キロ、橋梁は244橋あります。市民に最も身近で日常生活に不可欠な市道の維持管理は、舗装補修や側溝修繕、街路樹剪定、除草業務など、市民が快適に利用できるよう、緊急性、安全性など優先順位により適正な管理を行っています。

冬季の除雪につきましても、82路線、延長にして82.1キロを市内業者14社にお願いしており、除雪の目安としましては、夜間・休日を含め道路上の積雪がおおむね10センチから15センチ以上に達した場合としています。さらに、市内15路線、そのうち8路線が橋ですが、路面が凍結している場合や夜間・早朝凍結が予想される場合には、凍結防止剤散布を市内業者9社にお願いしております。それぞれ先週の7日に契約させていただきました。また、凍結防止剤散布につきましても、各自治会の皆様にも散布していただくようお願いしています。

除雪は市内の建設業者の方々に依頼していますが、中には県道を請け負ってみえる業者もあり、御指摘どおり、原則主要幹線道路である県道を先に行い、その後、市道の除雪を行っています。除雪作業は短時間に行う必要があります、できるだけ多くの業者に対応していただければ早く完了しますが、昨今の建設業を取り巻く情勢は大変厳しいものがあり、作業員や重機保有台数の減少等により、除雪作業におくれが生じがちです。特に通勤時間帯には間に合わず、苦情等の電話をいただくこともあり、市民の皆様にご不便をおかけしているのが現

状であり、現在の体制では、市内全域に降雪があった場合は、対象路線を減らすか積雪深を変更しない限り、早期対応が困難と考えております。

御質問をいただきました除雪需要の拡大についてでございますが、毎年自治会からも路線をふやしてほしい要望を受けております。この間、スクールバス路線につきましては、一部狭小路線を省きまして除雪対象路線としております。その他、各地区の主要幹線道路を中心に路線を決めております。また、乗り合わせタクシー路線につきましては、バス停は指定されていますが、運行ルートにつきましては最短ルートを走行するというので、ルートが決まっております。

したがって、現在の業者数から考え、除雪路線の拡大につきましては困難と考えておりますが、地域住民はもちろん、スクールバス、乗り合わせタクシーの安全な運行につきましては重要な課題と考えております。今後、地域の皆様にも除雪の御協力をお願いするとともに、関係機関へ除雪対象路線の周知はもちろん、業者の皆様とさらなる連携を図り、少しでも市民の皆様が不便を来さないよう図ってまいりたいと考えておりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます、答弁とさせていただきます。

○議長（森 福子君） 総務部長 梅村健君。

○総務部長（梅村 健君） それでは次に、辻議員の一般質問の2点目、地域づくり支援事業について、現在の単年度完結型を複数年度対応型にできないかについてお答えいたします。

地域づくり支援事業は、第4次総合計画に基づく市民参加、市民協働によるまちづくりの一層の推進を図るため、平成20年度の重点事業として、地域力・市民力を生かす事業としてスタートいたしました。これまでも道普請事業を活用した地域の環境整備や地域コミュニティづくり、文化・芸術・スポーツの振興、子育て支援、高齢者の福祉サービス、健康づくり、防災・防犯活動など、さまざまな分野での地域活動の支援に努めてきたところでございます。

地域づくり支援事業は、これまでの制度に加えまして、地域の自由な発想、考えのもとで、地域の特色を生かした活動が実践できる制度と考えております。各地域におきましては、この4年間で市民の皆さんからみずから考え、提案し、みずから協働して取り組まれ、この事業の推進によって地域コミュニティの形成に役立っていると考えております。第5次総合計画の目指す「市民がつくる きらりと光る オンリーワンのまち」「住みたいまち 訪れたいまち 夢かなうまちづくり」の実現のためには、市民力を生かしたまちづくりが必要でございまして。

議員のお話のように、市といたしましても各地区の事業を見てみますと、多くは継続していききたい事業と捉えており、各地区委員会の事業計画案を長期的に計画していただく中で、毎年度の評価と事業決定を行いながら手続を簡素化して、取り組みやすいよう地域づくりの推進を図っていただきたいと考えております。なお、こうした長期的に事業が推進しやすいよう各地区の予算を繰り越すことや、予算残を積み立て、後年度に活用できるよう予算措置を講じてまいりたいと存じます。



また、委員会の持つ役割が大きなものとなりますし、地域が広い範囲に及ぶことなど、地域内の実情があろうかと存じますが、この事業を円滑・効果的に進めていくには、自治会長さんを初め市民の皆様方の御理解と御協力をいただくことが大変重要なこととなります。

既に自治会を中心として地域の代表や各層の人材を取り込んだ委員会を設置され、委員の任期も複数年とするほか、委員のメンバーを年度途中に増員するなど、各地区の委員会の自由な発想で事業の推進を図られているところもございますので、これを尊重し、第5次総合計画の新しい公共の柱として続けていきたいと存じますので、御理解賜りますようお願い申し上げます、答弁とさせていただきます。

[3番議員挙手]

○議長（森 福子君） 3番 辻文男君。

○3番（辻 文男君） 大変御丁寧な答弁をいただき、ありがとうございました。

1点目の質問、降雪・積雪時の除雪対応についてですが、皆さん御存じのように、今週初めには強力な寒波襲来にあわせて、市内全域に20センチメートルを超える積雪がありました。牧谷地区でも、多いところでは50センチメートルほどに達したところもあるとお聞きしました。

一般質問する前に早速積雪による除雪作業の状況が起こったわけではありますが、除雪対応はまことに迅速であり、契約されたほとんど全ての路線において、夜半には除雪作業が開始され、翌朝には大方除雪が完了して、通勤・通学の足に大きな影響は出ませんでした。牧谷地域の乙狩・板山線では、積雪がふえ始めた午後9時過ぎには除雪が始まり、地元の方々は本当に喜んでみえました。

また、翌朝からの凍結対策にも、深夜から未明にかけて凍結防止剤散布を精力的に作業していただきました。この一連の作業により、今期の除雪対策の奏功を実感するとともに、私の懸念していた事態が回避できる早期の除雪体制が構築できていることを改めて確認させていただきました。

しかし、このように除雪等作業に協力いただいている建設業界ですが、これ以上不況の余波を受けると、このような迅速対応どころか、作業を引き受けていただくことができなくなる懸念もあります。また、緊急災害発生時にも大きな協力が必要となる建設業界との相互信頼は、行政にとっては不可欠な関係であることは言うまでもありません。今後もこうした信頼関係を維持していけるよう、行政としての対応をお願いして、要望といたします。

また、2点目の質問、地域づくり支援事業につきましては、事業予算の措置や委員会の役割について、その内容を明確にさせていただいたことにより、これからの地域づくり支援事業実施へ大きな励みになると思います。ありがとうございました。

以上をもちまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（森 福子君） 次に、4番 庄司義廣君。

○4番（庄司義廣君） どうもこんにちは。

私は、発言通告に従いまして、一般質問を行います。